

委員会などの開催状況

自転車安全利用のための条例を制定



【問】 条例を制定している自治体数は。
【答】 全国では50以上の自治体が制定、県内では知多市と名古屋市が制定している。

【問】 自転車の安全な利用の促進に関する条例の制定により期待する効果は。
【答】 自転車の安全な利用のための義務の内容が明確になり、市民の注意喚起を促すとともに、各事業者が協力しやすい環境が整う。

自転車の安全な利用の促進に関する基本的な考え方について説明を受けました。
主な質疑は次のとおりです。

市民文教委員会 9月7日
自転車の安全な利用の促進に関する基本的な考え方

その他に開催された委員会

- 7月26日 福祉環境委員会
国民健康保険料
- 9月7日 総務委員会
防災センター基本設計業務の進捗に伴う建設計画の変更点
- 9月7日 市民文教委員会
地域公共交通会議の検討状況

市議会防災訓練

市議会では、9月5日に市議会議員、議会事務局職員を対象に避難訓練を実施しました。

本会議中に震度5弱の地震が発生し、本庁舎1階の食堂から出火したという想定で、緊急地震速報受信時の対応行動メモに基づき、本庁舎3階の議場から屋外へ避難し、避難状況を確認、議会支援本部長である議長へ報告するまでの訓練を行いました。



地震発生時の想定で姿勢を低くする市議会議員

陳情

陳情第3号

私立高校生の父母負担を軽減し、学費の公私格差を是正するために市町村独自の授業料助成の拡充を求める陳情

陳情者代表 峰野 成彦

結果 陳情第3号は、市民文教委員会において、趣旨採択と決定。

陳情第4号

国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情

陳情者代表 峰野 成彦

陳情第5号

愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情

陳情者代表 峰野 成彦

結果 陳情第4号及び第5号は、各派交渉会において「聞きおく」と決定。

※ 国や県に対して意見書の提出を求める陳情は、申し合わせにより「聞きおく」としています。

※ 「聞きおく」とされた陳情は、全議員にその写しを配布し、各会派が陳情内容により意見書や決議の発議が必要と判断した場合は、定例会の中日の前日までに案を添えて議長に申し出ることであります。
今期定例会において、申し出はありませんでした。

常任委員会の行政視察報告

総務委員会



野田市役所会議室にて

7月19日 宮城県石巻市 防災・減災対策

7月20日 千葉県野田市 公契約条例

野田市では、21年に全国の自治体に先駆けて公契約条例を制定し、公契約に係る業務の質の確保及び公契約の社会的な価値の向上を図っています。条例の具体的な内容、条例制定後の業務量の変化、今後の課題などは、今後本市で条例制定を進めていくにあたり、大変参考になりました。

福祉環境委員会



春日市役所会議室にて

8月1日 兵庫県神戸市 子どもの居場所づくり事業

8月2日 大分県由布市 自然環境と再生可能エネルギー発電設備設置事業との調和に関する条例

8月3日 福岡県春日市 ごみの戸別収集及び夜間収集

春日市では、ごみ収集を夜間に、戸別収集により行うことで、住民のごみ出し時の負担を軽減し、分別意識の向上、ごみ収集車による交通渋滞の解消、カラスによるごみ荒らし対策、夜間の防犯対策などの効果を上げています。本市の今後のごみ収集を考える上で、その取り組みは大変参考になりました。

市民文教委員会



下関市役所会議室にて

7月19日 愛知県犬山市 歴史資産を活かしたまちづくり

7月20日 福岡県八女市 八女市民会館（おりなす八女）

7月21日 山口県下関市 コミュニティ・スクール推進事業

下関市では、子供や学校を巡る環境が、時代とともに変化の中で、学校教育を家庭や地域との関わりを再生し、みんなに対応できる協働の態勢をつくり、地域の力を学校に、学校の力を地域へつなげる「コミュニティ・スクール」を立ち上げて、地域とともにある学校づくりを行っています。本市の今後の学校教育を考える上で、協働で行う学校づくりは大変参考になりました。

産業建設委員会



久留米市役所会議室にて

8月1日 岡山県岡山市 イオンモールの出店

8月2日 福岡県久留米市 農業の担い手育成の取り組み

8月3日 広島県広島市 復興まちづくりビジョン

久留米市では、新規農業者の育成の取り組みとして、28年度より市内で就農を目指す実践研修修了生を対象に生産資材（肥料等）や機械購入費の4分3を支援する就農支援金制度を実施しています。また、特産物の販路拡大のためにアンテナショップの活用や、農産物のブランド化による販売力強化事業を展開しています。これらの取り組みは大変参考になりました。